

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・12月から続いている寒波により、特にコートなど単価の高い冬物商品の動きが好調である。	
	やや良くなっている	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	販売量の動き	・売上は新規先、既存先を問わず順調に推移している。	
		百貨店（営業担当）	競争相手の様子	・12月は豪雪の影響で防寒商品の売上が前年比5割増となったが、その反動で1月は同2割減となった。 ・卒業、進入学、結婚などの春の催事に対し、上質の商品を求める動きが堅調で、しかも例年より購入時期が早い。景気回復の足どりは確かである。	
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・コートなどの冬物防寒商品にはメーカーの生産抑制による品薄感があったものの、豪雪の影響もあり順調な売上となった。また、春物商品においても入学、卒業を前にしてスーツ、ジャケットなどの母親向け商品を中心にまずまずの出足となり、スプリングコートも好調な動きをみせている。	
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・20万円を超えるドラム式の乾燥機能付き洗濯機やシステムキッチン組込タイプのIHクッキングヒーターなど、高額な生活必需商品が目立って売れている。	
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・DVDは頭打ちの状況であるが、デジタル家電のなかでは液晶テレビ、プラズマテレビが相変わらず順調に推移し、全体の売上に底上げしている。	
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今月発売された新型車は期待どおりの立ち上がりとなり、受注総量は前年を上回る状況である。また、整備部門においても寒気や大雪の影響で板金塗装の入庫台数が増えており、売上増大の追い風になっている。	
		一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・正月は周辺でパチンコ店が深夜営業した影響もあり、また以後の天候等にも恵まれて売上は好調に推移した。	
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・レストランの通常営業は来客数が前年を上回ったため増収となったが、宿泊客数の減少により全体ではほぼ前年並みとなった。3か月前に比べるとレストランの来客数増加、一般宴会の増加などにより上向いている。	
		通信会社（役員）	単価の動き	・今月の販売量は例年どおり減少しているが、ケーブルテレビではアナログ契約から付加価値の高いデジタル契約へのシフトが進み、サービス単価は確実に上昇している。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・売上、来客数とも数か月ぶりに前年をクリアした。	
	変わらない		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・メーカーの生産調整の行き過ぎにより、売れ筋商品が市場で不足している。
			百貨店（営業担当）	お客様の様子	・初売り以降は天候にも恵まれ、福袋や値下げした冬物衣料の出足は良かった。また、防寒衣料のコート、ジャケットなど高額品も好調に推移し、春まで着られるインナー、ニット、カットソーなどの割引商品も売れている。
			スーパー（店長）	販売量の動き	・12月は異常な冷え込みにより冬物商材の販売点数は増加したが、1月はその反動もあり、販売量は3か月前に比較して下回った。しかし、食品における買上点数の動向は変わらず、全体としては良い状態が続いている。
			スーパー（総務担当）	販売量の動き	・12月の大雪により例年1月にあるはずの衣料需要が先取りされたため、今月の売上は前年を下回っている。食品は前年とほとんど変わっていない。
			スーパー（営業担当）	販売量の動き	・来客数は前年と変わらないが、客単価が低下したため売上は減少した。厳しい寒さで灯油などの費用が増加したため、食品の購入に影響が出ている。
			スーパー（副店長）	単価の動き	・年末年始は天候に恵まれ、来客数は前年より増加した。1月全体では積雪のため食料品を中心としたまとめ買いが多く、客単価の上昇につながった。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・月の前半は雪の影響を受けたが、月全体としては比較的安定した売上であった。	

		乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・軽自動車や小型車の販売動向は良いが、中・大型車は苦戦している。ガソリン価格の高騰や12月からの積雪等の影響により全体としては弱含みである。
		乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・車の販売・受注台数は新型車が登場したにもかかわらずほぼ横ばいである。
		自動車備品販売 店(従業員)	来客数の動き	・12月からの降雪により、客の足が遠のいている。初売りセールもあまり反応がなく、スタッドレスタイヤの伸びも前年並みで、特需にならなかった。
		高級レストラン (スタッフ)	販売量の動き	・今月10日から来月末まで、全店合同のキャンペーンを実施している。キャンペーン用のコース料理と会計時に従来ポイントの3倍をサービスしているが、来客数、売上とも例年並みで推移している。
		一般レストラン (店長)	来客数の動き	・回転ずしの来客数は前年に比べて若干上回っている。平日は昼、土・日曜日は夜の来店客が多い。
		都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・来客数は変化していないが、販売単価が低下しているため、総体の売上は減少した。
		住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・増改築分野では大手の家電メーカーがオール電化を掲げて進出し、価格競争が激しくなっている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・家づくりを決意する人の数が例年より少ない。大雪の関係もあり、展示場への来場が遅れている。
やや悪く なっている		一般小売店〔書 籍〕(店長)	販売量の動き	・良い書籍を厳選してそろえなければ、客が買わないという傾向がより顕著になっている。
		スーパー(店 長)	お客様の様子	・1月からポイントカード制を廃止したため、売上が若干落ち込んでいる。これに代わる販売促進策を強化しているが、まだ効果は表れていない。
		コンビニ(店 長)	販売量の動き	・例年1月は年末年始の反動で売上が伸び悩むものの、給料日の25日以降には上向くというパターンである。しかし、今年は中旬の落ち込み状態が月末まで続いている。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・販売量は前年比で10%前後減少している。
		住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・不順な天候で、初売りから客足が悪くなっている。新入学児童の学習机は必需商品として順調に推移しているが、特にリビング、ダイニング、ベッドといった主力商品が低迷している。
		スナック(経営 者)	来客数の動き	・12月から降り続いた雪の影響で来客数が少なく、売上は数回の団体予約などでようやく前年の9割となった。ただ、来店客には自社株の上昇などで明るい雰囲気が見られる。
		旅行代理店(従 業員)	販売量の動き	・大雪の影響でキャンセルが相次ぎ、旅行の売上は前年比20%減少している。
		住宅販売会社 (従業員)	来客数の動き	・寒さと雪の影響で来客数がかなり減少している。
		住宅販売会社 (総務担当)	それ以外	・大雪による影響で工事の進捗が遅れ、決算期を控えて売上が減少している。
	悪く なっている		商店街(代表 者)	来客数の動き
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・新規客は新型車や限定車等に期待しているが、インバクトのある車が見当たらないため状況は厳しい。既存客には車検や修理時期に合わせて代替を勧めているが、使える車は使い続けるという傾向が強い。また、購買につながる引き合いも少ない。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・昨年末からの大雪によるキャンセルや雪害についてのマスコミ報道による風評被害もあり、来場者数は前年に比べて約3割減少した。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (企画担当)	受注価格や販売 価格の動き	・付加価値があり、販売単価の高い商品でも、前年に比べて売行きが好調である。
		繊維工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・寒波の影響で冬物の重衣料の在庫が一扫され、品不足となっている。
		一般機械器具製 造業(経営者)	取引先の様子	・受注は前年同期に比較して若干強含みで推移している。納入先はさらに強含みで、超繁忙状態が続いている。
		精密機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・現在の受注量は3か月前に比べ約1.3倍となり、生産能力向上の対応に追われている。

	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・特に建築工事の見積依頼が依然多いものの、価格競争の激化が続くなか、低価格の業者がみられるため、多忙な割には受注につながる機会は少ない。	
変わらない	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の値上げ等の影響で価格は変動したが、現時点で受注価格は落ち着いている。	
	電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・ユーザーは決算を前にして発注を控えている。いずれ回復すると思われるが、急な受注増は期待できない。	
	通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・光電話の受注の増加傾向が鈍化し、また企業の電話などの設備投資もいまひとつ伸び悩んでいる。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・トラック輸送業者では貨物量が増加傾向にある。とりわけ家電量販店からの出荷が前年同期に比べて増加しており、個人消費の高まりがうかがえる。	
	不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・周辺の不動産情報が少しずつ動き始めている。	
やや悪くなっている	建設業（経営者）	競争相手の様子	・同業者では社員のリストラにより、受注に際して専任の技術者がいないという会社が増えている。	
	輸送業（配車担当）	受注量や販売量の動き	・大雪による影響でトラックの運行効率が低下し、収益が減少した。燃料費の増大や残業費も増加傾向にある。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・派遣求人は引き続き堅調に推移し、加えて求人企業の正社員志向が目立つ。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・雇用保険の受給者が減少し、一般求職者が増加している。最近5か月では在職中の求職者が前年比で50%前後増加している。これは労働条件の良い会社へ転職を希望しているためと思われ、純然たる失業者が減少している。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・求人数が幅広い業種で増加傾向にある。
	変わらない	求人情報誌制作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数は横ばいで推移している。内容的にはアルバイト・パート求人が中心である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告は前年比で若干の減少となっているが、昨年6月ごろからの減少傾向は縮小している。
	やや悪くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は平成15年12月以降最も少なく、有効求人数も2か月連続で減少している。
悪くなっている	-	-	-	